

## 東広島市メールモニター「のんモニ」アンケート集計結果

アンケート	平成30年度第2回
実施期間	平成30年5月21日～平成30年5月30日
テーマ	家庭での防災・減災について
担当課	危機管理課
登録者数	150人
回答者数(回答率)	60人(40.0%)

### 担当課のまとめ

#### ●アンケートの目的

災害はいつでもどこで起こるかわかりません。防災・減災のためには、自分(家族を含む)の身は自分で守る行動「自助」の取り組みが日頃から必要だと言われています。

各家庭において、どの程度防災・減災について意識し、具体的に取り組まれているかを把握するため、アンケートを実施しました。

#### ●アンケート結果を受けて

全世帯にお配りしたハザードマップなどにより、ご自宅やお勤め(通学)先の近くにある災害上の危険な場所については、多くの皆さんが把握されていることがわかりました。

このほか、災害時には、より迅速かつ確実に防災情報を入手するため、停電時等に備えて情報の入手経路を複数確保しておくことが重要ですが、「東広島市防災メール」や「緊急告知ラジオ」の利用率が低いことから、今後は、情報入手経路の確保の必要性を積極的に訴え、啓発していく必要があると感じました。

また、備蓄に関する質問に対しては、「不十分」または「していない」と答えた方が9割以上もいらっしゃいました。なかなか「防災のための」備蓄として考えると難しいかもしれませんが、お米やインスタント麺など、普段の生活にある食品でも災害時には備蓄として役に立つものも多くあります。広報紙6月号に特集記事を掲載していますので、こちらもご確認ください。

広報6月号バックナンバー：<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/koho/hesei30nen/17344.html>

#### ●今後の施策について

自助・共助・公助の連携強化による防災・減災対策を積極的に進めていきます。

災害発生時、公的機関(消防・警察・自衛隊など)はすぐに多くの場所に駆け付けることができないおそれがあります。阪神淡路大震災の際には、隣近所の助け合い(共助)によって、2万人以上の人命が救われたという報告もあります。いざという時のために、「自助」の備えはもちろんのこと、地域の防災活動への参加等「共助」の備えにもご協力をお願いします。

なお、8月21日には安芸津地区で市の総合防災訓練を開催しますので、ぜひご観覧ください。詳細は、広報紙8月号をご覧ください。

#### ○自助

「知る、学ぶ」:ハザードマップでの災害の恐れのある個所の確認

「察知する」:登録型メール、緊急告知ラジオ、広島県防災Webなど複数の情報入手手段確保

「行動する」:地域で開かれる防災講座、地域防災訓練の参加

「備える」:3日分を想定した備蓄、ローリングストックなど

#### ○共助

住民自治協議会を活動単位とする自主防災組織による各種防災活動の支援

(地域で開催される防災講座、地域防災訓練に積極的に参加しましょう!)

#### ○公助

計画的備蓄、防災情報発信体制の強化、関係機関と連携した総合防災訓練実施など

#### ●最後に

職員による出前講座も実施しております。そちらもぜひ御利用ください。

このアンケートをきっかけとして、皆さんもご家庭で防災について定期的に話し合う機会を設けてみませんか。

#### 【問い合わせ】

危機管理課:TEL(082)420-0400 FAX(082)-422-4021



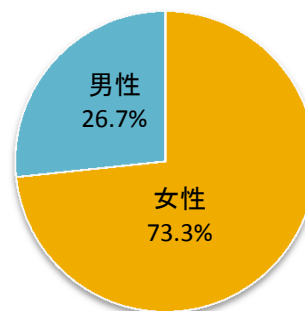
## ●回答集計

※端数処理のため、比率の合計が100%にならない場合があります。

### 【回答者の属性】

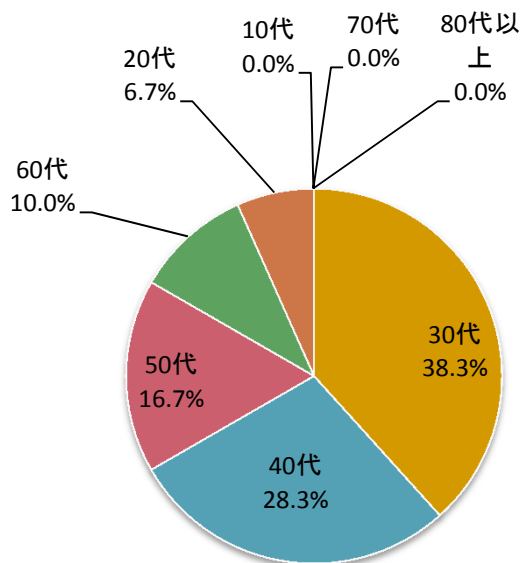
あなたの性別を教えてください。

順位	回答	回答数	%
1	女性	44	73.3%
2	男性	16	26.7%
	合計	60	100.0%



あなたの年代を教えてください。

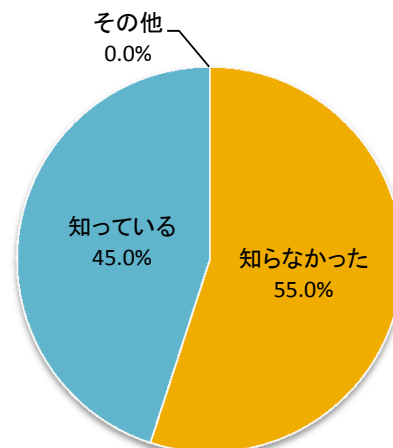
順位	回答	回答数	%
1	30代	23	38.3%
2	40代	17	28.3%
3	50代	10	16.7%
4	60代	6	10.0%
5	20代	4	6.7%
6	10代	0	0.0%
6	70代	0	0.0%
6	80代以上	0	0.0%
	合計	60	100.0%



### Q1. 防災の基本「自助」「共助」「公助」について知っていますか？

防災活動は①自分(家族)の身は自分で守る「自助」を前提に、②隣近所、地域ぐるみ(職場内)で地域(職場)を守る「共助」、③消防、警察、自衛隊、行政などの「公助」により展開されます。

順位	回答	回答数	%
1	知らなかった	33	55.0%
2	知っている	27	45.0%
3	その他(自由記述)	0	0.0%
	合計	60	100.0%



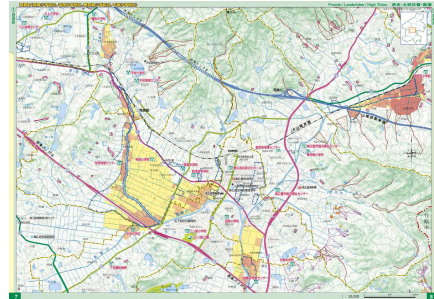
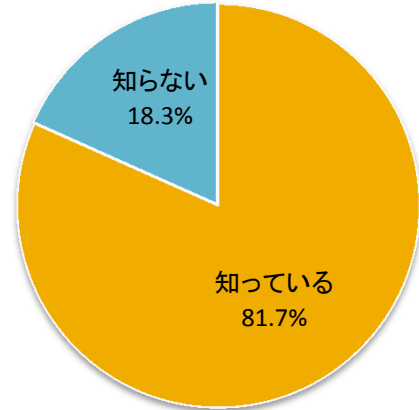
**Q2. お住まい、お勤め(通学)先の近くにこういった災害上の危険な場所があるかご存知ですか？**

災害が起こってからではなく、事前に危険箇所を把握しておくことが重要です。平成29年4、5月に各世帯にお配りしたハザードマップで、日頃から確認をしておいてください。ハザードマップとは、台風、大雨、地震など各種災害によって被害が予想される箇所や避難所の位置などを地図に示したもので、洪水・津波・高潮による浸水被害とがけ崩れなどの土砂災害が予想される区域などを掲載しています。

東広島市ハザードマップ

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/bosai/10/3541.html>

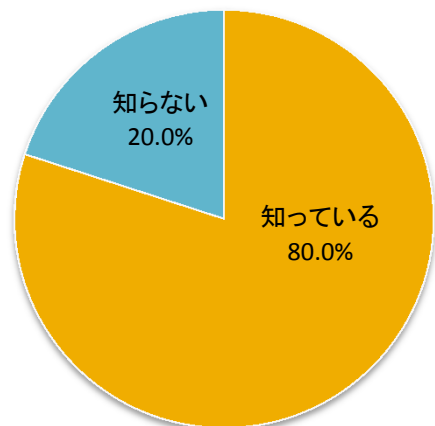
順位	回答	回答数	%
1	知っている	49	81.7%
2	知らない	11	18.3%
	合計	60	100.0%



**Q3. お住まい、お勤め(通学)先からの最寄りの避難所をご存知ですか？**

東広島市内には230箇所避難所があります。ハザードマップで確認してください。

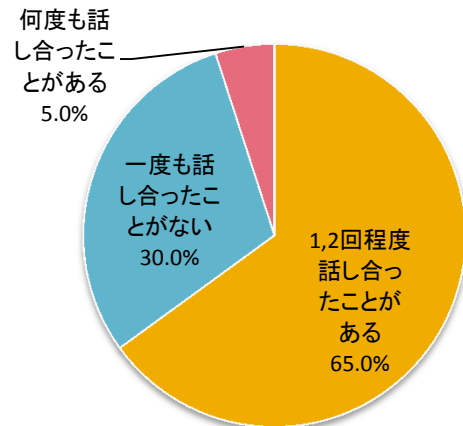
順位	回答	回答数	%
1	知っている	48	80.0%
2	知らない	12	20.0%
	合計	60	100.0%



**Q4.ご家庭で、避難場所や備蓄、緊急連絡、家具の転倒防止などについて話し合ったことがありますか？**

仕事や学校に行っている間に災害があった場合の連絡、集合先などについても確認が必要です。  
電話会社の災害伝言サービス  
<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/bosai/3/2156.html>

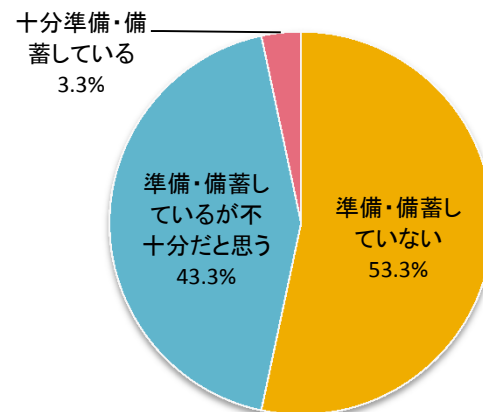
順位	回答	回答数	%
1	1,2回程度話し合ったことがある	39	65.0%
2	一度も話し合ったことがない	18	30.0%
3	何度も話し合ったことがある	3	5.0%
	合計	60	100.0%



**Q5. ご自宅では、災害に備えて防災用品、食糧などの準備・備蓄をしていますか？**

防災用品としては、懐中電灯、ラジオ、乾電池、ライター、ろうそく、マスクなどがあります。さらに、3日分の水、食料の備蓄が必要だと言われています。  
<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/bosai/3/4815.html>

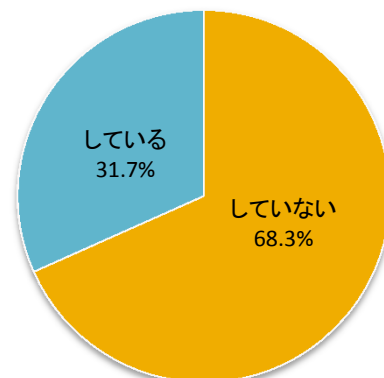
順位	回答	回答数	%
1	準備・備蓄していない	32	53.3%
2	準備・備蓄しているが不十分だと思う	26	43.3%
3	十分準備・備蓄している	2	3.3%
	合計	60	100.0%



**Q6. ご自宅で、地震災害に備えて家具の転倒防止や、食器落下防止などの対策をしていますか？**

過去の災害でも、箆箆などが寝ていた上に倒れる、固定していなかったピアノが動く、食器棚からガラス食器が落下、飛散するといったことがありました。  
【内閣府】お部屋の安全空間のつくりかた  
<http://www.bousai.go.jp/pdf/oyakudachi01.pdf>

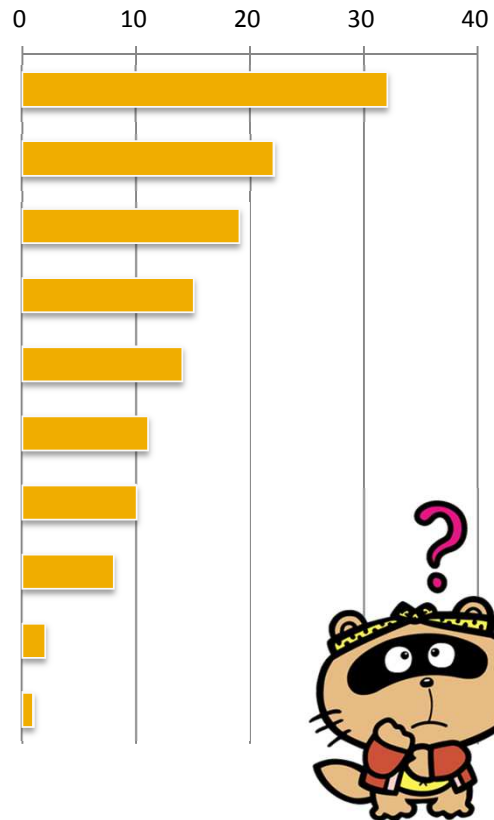
順位	回答	回答数	%
1	していない	41	68.3%
2	している	19	31.7%
	合計	60	100.0%



**Q7. お住まい、お勤め(通学)先に災害が迫っているという情報をどう入手していますか？(複数選択可)**

災害時は停電も考えられます。できるだけ多くの情報入手手段を持つておくことをお勧めします。  
 災害時の情報収集について  
 東広島市ホームページ <http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/bosai/3/3749.html>  
 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>  
 広島県防災web <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/>

順位	回答	回答数	%
1	テレビ、ラジオのニュースなど	32	23.9%
2	市防災メール配信サービス	22	16.4%
3	防災関係のアプリ(スマートフォンをお持ちの方)	19	14.2%
4	地上デジタル放送NHKのdボタンによる防災情報	15	11.2%
5	気象庁ホームページ	14	10.4%
6	広島県ホームページ(広島県防災web)	11	8.2%
7	広島県防災情報メール通知サービス	10	7.5%
8	市緊急告知ラジオ	8	6.0%
9	カモンケーブルテレビの防災情報	2	1.5%
10	その他(自由記述)	1	0.7%
	合計	134	100.0%



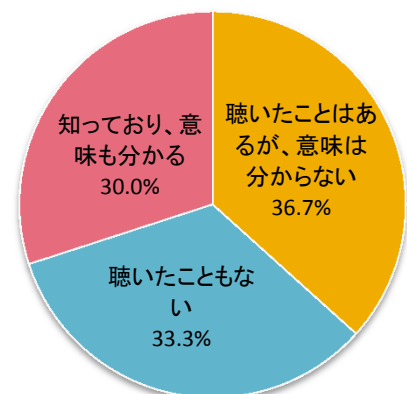
**【その他の内容】**

・携帯電話に地震の情報が入ってくる、インターネットの災害情報を見る

**Q8. 避難情報のひとつである、「避難準備・高齢者等避難開始」の意味を知っていますか？**

平成28年12月に「避難準備情報」から名称が変わりました。避難に時間がかかる高齢者や障がいをお持ちの方、乳幼児のいらっしゃる家庭は、この情報が発令されたら、避難行動を開始してください。  
<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/bosai/3/2/2029.html>

順位	回答	回答数	%
1	聞いたことはあるが、意味は分からない	22	36.7%
2	聞いたこともない	20	33.3%
3	知っており、意味も分かる	18	30.0%
	合計	60	100.0%

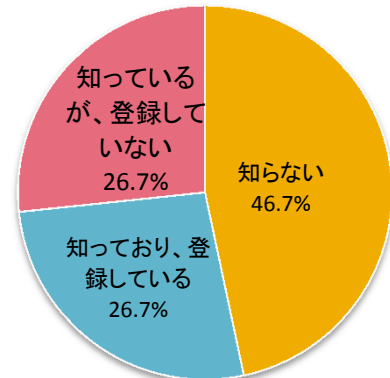




**Q9. 市内の避難勧告等をメールで受信できる「東広島市防災メール」を登録していますか？**

防災メール配信サービスは、登録された方に、東広島市の地震情報・気象情報・避難情報・国民保護情報等の防災情報を、携帯電話やスマートフォンに無料でメール配信するサービスです。ぜひ登録してください。  
<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/bosai/3/3248.html>

順位	回答	回答数	%
1	知らない	28	46.7%
2	知っており、登録している	16	26.7%
2	知っているが、登録していない	16	26.7%
	合計	60	100.0%

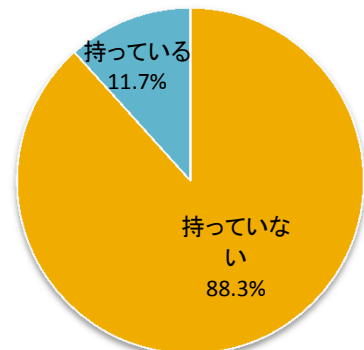


**Q10. 市内の避難勧告等が自動で放送される東広島市緊急告知ラジオをご自宅でお持ちですか？**

緊急告知ラジオは、コミュニティFM(FM東広島)放送の電波を利用した緊急告知システムで、災害時には市域の防災情報を放送します。普段は、FM東広島専用のラジオとして利用でき、災害時に緊急情報が入ると自動的に起動する、いざというときに役立つラジオです。  
<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/bosai/3/2468.html>



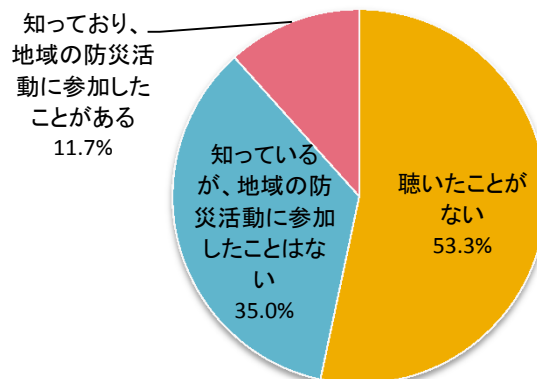
順位	回答	回答数	%
1	持っていない	53	88.3%
2	持っている	7	11.7%
	合計	60	100.0%



**Q11. 「共助」のひとつである、「自主防災組織」を知っていますか？**

防災における共助の要となり、住民が連携して防災活動を行う組織が自主防災組織です。東広島市では、全市域での組織化に向けて地域の様々な活動を中心的に担っていただいている住民自治協議会を単位とした自主防災組織の設立および活動を推進しています。  
<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/bosai/3/2910.html>

順位	回答	回答数	%
1	聞いたことがない	32	53.3%
2	知っているが、地域の防災活動に参加したことはない	21	35.0%
3	知っており、地域の防災活動に参加したことがある	7	11.7%
	合計	60	100.0%



## ■ 自由記入

Q12.その他、アンケートの感想やご意見等ありましたら、記入してください。

(主な回答内容)

- ・ とても勉強になりました。東広島市緊急告知ラジオについてですが、もう少しスタイリッシュなデザインになれば使いたいと思います。  
また、夜間や停電時に便利なLEDスポットライトを装備し、手回し充電対応や太陽光充電が出来るといいと思います。欲を言えば、モバイルバッテリーの代わりになればいいのかと思います。
- ・ 多く地震や災害が全国で発生する中でいざこの東広島でとなると落ち着き行動できるかが正直不安なところがあります。  
2014年に震度5を経験した時は入院しており病院内がざわつき、高齢者の方はちょっとした悲鳴をあげるような状況でしたので、日頃から防災グッズや行動等身につけておくのは非常に大切だとつくづく思います。車椅子生活の為、介助してくれている方が災害時側に居てくれるか保証はないのが本当のところでしょうか。
- ・ ずっと昔から思っていたことで、でも情報の正確性があることなのかも分からないのですが…地震の直前にペットの犬や猫、ネズミ池の中の魚等様子がいつもと違っておかしかったとか、自然現象にも何らかの兆候がみられた、という話をよく聞きます。  
でもそれっていつも地震がおこったあとです。なので、何かへんと思ったならネットで一般市民が簡単に連絡できるシステムを作って、今日の花粉指数みたいに今日のペット異常行動指数とかどうかなあ…地震について自らから発信する事で気をつけていくんじゃないかなと思います。
- ・ 緊急告知ラジオが2000円は、高いように思います。防災用品で売っている手回し充電可能なLEDライト兼FM/AMラジオで2000～3000円なので、これに機能追加して2980円程度であれば購入しようかと思えます。
- ・ 緊急告知ラジオは、ぜひ購入したい。  
近く地域〔八本松町篠〕で防災訓練が実施されるので、夫が参加する予定である。  
わたくしは、下肢に障害があるので、災害時には避難は、むづかしいと思っていたので、「避難準備・高齢者等避難開始」情報を取得する方法について知りたいと思う。



購入は、危機管理課又は各支所で行っています。また、避難情報を取得する方法は、緊急告知ラジオと市防災メールがあります。緊急告知ラジオの購入と合わせて、市防災メールの登録もよろしくお願ひします。登録は、市ホームページの危機管理課に記載があります。最後に、避難情報は、常に「避難準備・高齢者等避難開始」から発令されるわけではなく、緊迫する状況であれば、いきなり避難勧告や避難指示を出す場合もあります。

- ・ 近隣も知らない人が多く、いざというときにどうなるかと思えます。
- ・ 防災に関するアンケートはもっと具体的な内容でも良かったと思う。
- ・ 丁度先日、防災用品の見直しをして、水や乾パンの期限切れに気づいたので近日中にまた準備したいと思う。  
定期的な見直しが必要だと思った。  
家族構成も変わってきて、高齢者も二人一緒に住んでいるので避難場所や連絡方法など今一度確認したいと思う。
- ・ 自主防災は重要度は高いが、緊急度が低いと感じる方が多く、なかなか定着しない課題だと思います。  
市内のスーパーの特売日に水や保存食の備蓄を呼びかけるとか、ローリングストックなどを周知するなど地道な活動しかないのかなと。  
あとは防災の日や各地で災害があったときに、広報紙やプレスネットなどで必要な物などについて掲載するのでしょうか。  
エディオンなどでも防災リュックなども売ってあるので、市民の意識しだいで備蓄ができると思います。  
自主防災組織は自治協議会と一体なのだと思いますが、アパート暮らしだと自治協議会に入っていないので、これといった情報がないのが現状です。

- ・ 災害は、いつくるか分からないので、避難場所など家族で話し合いたいと思いました。自分の身は自分で守らないといけないと感じました。
- ・ 緊急告知ラジオを所有していますが、毎月10日のテスト放送で不具合があるか確認できるのは非常にいい事と思います。  
気にしている点として、不具合が発生した場合、所有者が修理費を払うと聞いています。故意又は落下ぶつかけたりして損傷した場合は理解するが、外観的には損傷無く、受信出来ない時は行政の負担で修理又は交換対応してほしい。  
告知ラジオの所有目的が趣味娯楽というものではないから。検討お願いします。
- ・ 住んでいる地域(団地)では年に一度の避難訓練や、自治会が普段からしっかり機能しているため、防災意識は高い方だと思います。  
改めて、個人的な備えももう少ししっかりしようと思いました。
- ・ 防災について知っているつもりだったけれど、まだ知らない事がたくさんあり勉強しないとイケないなと思いました。
- ・ 子供が3人となり、防災に関する興味関心は高まったと思います。  
去年は地域の防災訓練に参加し、あらためて大事だなと感じました。  
しかし、自分たちの住んでいる場所は比較的安心だ、という気持ちがやっぱりあり・・・しっかり備蓄ができてはいません。見直さないとなと思いました。  
子供はまだ乳幼児3人で、夫の不在時に何かあったらどうしようと、不安に思うときもあります。
- ・ マンションに住んでいますが、高層階に住んでいるので、エレベーターが動かなくなった時が非常に困ります。  
マンション自体に備蓄品があるかどうか分かりませんので、万一災害時は公共の避難先へ物資をお願いしなければならないのかなと思っております。  
マンションだと各マンションの管理会社によるのですが、マンションにも備蓄品の有無、災害時はどうするとか具体的に教えて欲しいです。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

